



2021年10月27日

モルフォとセキュアの「群衆・混雑カウント」が、 マルエフーズのドトールコーヒーショップ高知帯屋町店で採用 ～混雑見える化で安心して入店～

【概要】

株式会社モルフォ（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：平賀 督基、以下モルフォ）は、株式会社ドトールコーヒーのフランチャイズ加盟店であるマルエフーズ株式会社（本社：高知県高知市、代表取締役社長：森本 敬一、以下マルエフーズ）が8月5日にリニューアルオープンしたドトールコーヒーショップ高知帯屋町店（以下ドトール）において、株式会社セキュア（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：谷口 辰成、以下セキュア）と共同開発した映像解析ソフトウェア「群衆・混雑カウント」内の「混雑カウント」が採用されたことを発表します。



マルエフーズでは今回ドトールのリニューアルを行う際に、新型コロナウイルスなどの感染症拡大の影響により、来店客数が減少するのではないかと店舗の課題解決に対してDX導入が検討されました。

消費者の価値観の変化や新しい顧客体験を生み出すために店舗DXの導入を進める中で、感染対策や従業員のオペレーション改善のため、店内の混雑状況を計測するソフトウェア「混雑カウント」の採用となりました。

これにより、お客様が1階から3階のフロアの混雑状況を事前に確認できることで、スムーズに空いている席へご案内することが可能になり、お客様には気持ち良くコーヒー時間をお楽しみいただけます。



【群衆・混雑カウントについて】

「群衆・混雑カウント」は既存の監視カメラで人物を検知し人数カウントを可能にし、人物の密集度をAIが計測する「群衆カウント」およびエリアの人物の人数をAIが計測する「混雑カウント」の2種類のアルゴリズムからの選択が可能です。今回採用された「混雑カウント」は、混雑表示を5段階のアイコン表示で混雑度を見える化するクラウド型サービスです。

従来のカウントシステムは専用の人数計測器を設置する必要がある、あるいは専用の解析サーバーを現地に設置する必要があり、導入コストが課題となっておりました。本サービスは、監視カメラとインターネット環境があれば、運用開始が可能で、特別な人数カウンターや現地へのサーバー設置も必要ございません。

- 群衆・混雑カウントについて：https://www.morphoinc.com/news/20201102-jpr-morpho_secure_ccs

● クラウドアプリでいつでもどこでも混雑状況を把握することが可能

- *監視カメラ映像とインターネット環境があれば利用可能です。
- *現地にサーバーの設置は必要ありません。



【株式会社モルフォについて】

モルフォは「画像処理／AI（人工知能）」の研究開発型企業です。高度な画像処理技術を組み込みソフトウェアとして、国内外のスマートフォン、半導体メーカーを中心にグローバルに展開しています。また、カメラで捉えた画像情報をエッジデバイスやクラウドで解析する、AI を駆使した画像認識技術を車載や産業 IoT 分野へ提供し、様々なイノベーションを先進のイメージング・テクノロジーで実現しています。

所在地：東京都千代田区西神田 3 丁目 8 番 1 号 千代田ファーストビル東館 12 階

代表者：代表取締役社長 平賀 督基（まさき）、【博士（理学）】

設立：2004 年 5 月 26 日

資本金：1,782,977 千円（2021 年 2 月 28 日現在）

事業内容：画像処理および AI（人工知能）技術の研究・製品開発。スマートフォン・半導体・車載・産業 IoT 向けソフトウェア事業をグローバルに展開。

ホームページ：<https://www.morphoinc.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/morphoinc>

【お問合せ先】

株式会社モルフォ 広報担当 宮崎、大野

TEL：080-8433-3415

お問い合わせフォーム：<http://www.morphoinc.com/contact>

*モルフォ、Morpho およびモルフォロゴは株式会社モルフォの登録商標または商標です。